

事務局 橋詰 0564-53-3100 小野 0564-24-8518
今年度テーマ「私のたまたま箱」を開いてみましょう

私が受けた
ホスピスケア

私が自身でできる
ホスピスケア

私が他の人にできる
ホスピスケア

岡崎ホスピスケアを考える会

「オギャー」

赤ちゃんは、オギャーという産声だけで周りを幸せにする力を持っている。

敬愛する人がこんなことを言っていた。

「赤ちゃんにとつて、胎内が一番居心地いいはず。だから母体から出ていく時は不安で不安でしかたがない。オギャーと外に出た時、赤ちゃんは胎内で聞いていたあの懐かしい声の主である母に出会う。本当にうれしいうれしいだろうなあ」と。

私も三十六年前不安と苦しみの中でオギャーという声を聞いた。その瞬間に味わった安堵感と開放感・・・今も鮮明に覚えている。

しかし『赤ちゃんも、同じ不安と苦しみを味わってようやく外に出た。そうしたら、あの懐かしい声の主である母に出会った。うれしいうれしいだろうなあ』なんて気づきもしなかった。

その人の話は、続きがあった。

「死も誕生と同じことでしょう。居心地のいいこの世との別れが、悲しく不安でしかたがない。しかし、それが聞いたことのある懐かしい人に本当に出会える入口ならば、それは希望でしょ」と。

私自身、あの時赤ちゃんだった長女が赤ちゃんを生み、両親四人を見送った。だからでしょうか。そういう出会いが必ずあると、信じられるようになった。両親たちが、この世に遺してきた私たちを、今まで以上に愛してくれている気配を感じます。お盆が近づいたせいでしょうか。

「オギャー」

今日もうれしい出会いがあると信じて、新しい朝を迎えたい。

橋詰清子



勉強会

5月8日「わたしのカルテ」より一告知・意思表示書—P13~15

7月10日「終末期の在宅ケア」より一札幌・ス・医師 訪問看護・介護事業所—P18~30

5月8日(木) 10:~12:00 福社会館視聴覚室

2001年3月に作成した「私のたまたま箱」わたしのカルテよりP13~15「告知 意思表示書」を見直しました。

1. 新しく作成した資料の説明と話し合いをしてから、意思表示書に記入をしました。
 - ①私の意思表示書カード(携帯できるもの) ②意思表示書2種類(自分で書くもの・賛同し印鑑を押すもの)
2. 体験談の内容
 - ・2001年に比べて、がんや転移の有無などの告知は、躊躇することなく直接患者にされるようになった。
 - ・意思表示書を書いてから入る施設も多くなった。

【感想】より

- ・なかなか書くことができなかったけれど、一人で書くよりみんなで話し合いながら記入できてうれしかった。
- ・皆さんのお話を聞き、自分の意思を日頃家族といっしょに話し合うことが重要だと思った。

7月10日(木) 10:00~12:00 福社会館視聴覚室

「私のたまたま箱」終末期の在宅ケアよりP18~30を見直しました。2001年3月に作成した「私のたまたま箱」の中で大きく変わった箇所が終末期の在宅ケアの部分です。

1. 介護タクシー事業が登場したこと。
2. 介護サービスが充実してきて、市役所から「事業者マップ」や「介護保険の利用方法」の冊子が発行されている。
3. 訪問看護ステーションが7箇所から8箇所に増え連携化(ネットワーク化)し始めたこと。
4. ホスピス緩和ケア病棟は増えていますが、閉鎖されたところもあります。

※介護食宅配給食などの情報を集めています。御存知の方は事務局までお知らせください。

【感想】より

- ・たまたま箱の活用法とても大切なことですね。これを買ったからOKじゃない、しっかり内容を把握して入れ替えたり書き直したりして自分だけのものにせず、家族と共用しなくては・・・と感じました。
- ・いつもいろいろ調べていただいてありがとうございます。自分一人ではなかなか勉強できませんがこういった勉強会で話が聞けて、とてもためになります。
- ・母の介護で困るのは食事と失禁のこと。会員さんの話で「おむつは本人がしてくれというまでしなかった」という言葉が心に残りました。

◆お知らせ

会員の皆様には、総会時に(2009年3月14日)「私のたまたま箱」の新しい全資料をお渡しする予定です。



“手縫い”の報告

愛知病院・市民病院・国際病院・施設へ雑巾や依頼された品を手作りしてお届けしています



愛知病院の中に入ってすぐのエレベーターの隣にある医療相談室を皆様御存知ですか。その相談室をアットホームな雰囲気にしたという看護師さんの御希望で、会員の方の手作りのテーブルクロス センター そのほか小物などを飾らせていただきました。また、新しくできた相談支援センターの小物も、ピンクでやさしい雰囲気に統一するお手伝いをさせていただきました。

(アットホームな雰囲気の相談室) 緊張してお部屋に入られる方が、リラックスした気持ちでお話していただける場所になれば・・・と願っています。

(第1木曜日 13:00~16:00・第2火曜日 10:00~12:00)

“つどい”の報告

患者・家族・遺族(誰もが遺族)の集まり

今年4月より橋詰さん宅で「つどい」を行うようになりました。その日のメンバーで話題も変わります。日常の何気ない話題から自分を重ね内省し思いを抱く。時には言葉にしてみる。妻でも母でも娘でもない自分自身の思いが確認できたり、聴いてもらったり・・・そんな「つどい」は月1回続行中です。

参加希望の方は事務局へ連絡してください。

(第3木曜日 10:00~12:00)



“緩和ケア病棟ボランティア”の報告

ティーサービス・季節の模様替え・アロマ・楽器演奏

◆「七夕会」—ティーサービス(毎週金曜 13:30~16:30)

- ・季節の行事は、移りゆく時間を大切にしたい人たちにとっては、大切な思い出になると思いました。ハーブ演奏はやさしい音色でした。
- ・レストランのように、和菓子とゼリーを選んでいただきました。特別な日にはこんな選ぶ楽しさも加えてみました。よかったでしょうか。
- ・ナースたちの浴衣姿が七夕の雰囲気を出していました。
- ・看護師さんや御家族の浴衣の着付けを手伝いましたが、仕事の途中で着替えて見違えるように変身された若い看護師さんの姿に、感動しました。
- ・ラウンジに来られた患者さんの赤い三尺のゆかた姿は素敵でした。
- ・浴衣を着た患者さん、とてもかわいらしく、御家族の方から大切にされて見える様子に、そんな家族でありたいなと思えました。



(七夕飾りづくり)

◆アロママッサージ(毎週金曜日 14:30~15:30・木曜日随時)

- ・マッサージは患者さんの身体に直接触れるので、体調や息使いに少しでも合わせるようにしています。眠ってしまわれる方の時は、できるだけ自分が一番心地よいイメージを思い浮かべながらマッサージしています。
- ・ハードな作業なので、自分の身体に負担がかかり過ぎないように自分自身にも気遣っています。
- ・「気持ちが良くて眠ってしまいますよ」と言って眠られる方、ずーっとお話される方、いろいろですが、終わった後、満足そうなお顔を見ると、こちらも嬉しくなります。

◆季節の模様替え



夏にふさわしい涼しげな色のテーブルセンター レースの花瓶敷きに変えました。冷房も効きすぎず適温に調節されたラウンジで、小さな子供さんがおばあちゃんと一緒に短冊にねがいごとを書いていました。

◆楽器演奏 (毎月1回 金曜日 14:30~15:00)

岡崎出身のピアニスト野田由季さんが聞きなれたクラシックを中心に弾き始めると、各部屋からラウンジへ皆さんが聞きにきてコーヒータイムが始まりました。(6月27日)

- ◆ご寄付をありがとうございました 加藤福美様 安江満悟様 河合恵子様 向野京子様 宮澤美栄子様 中根美智子様 大須賀すみ様 難波清子様 安藤美保子様

◆お知らせ

愛知県がんセンター愛知病院内に「相談支援センター」がオープンしました。がんに関すること 在宅ケア 緩和医療 緩和ケア病棟 医療費などの経済的なこと等の、相談ができます。電話 0564-21-6251 (内 2683)